

岩手県における新型コロナウイルス感染症患者の「全数把握」見直しに係る対応について

運用開始：令和4年9月1日

本県は「全数把握」の継続、「重症化リスクの低い方の入力項目の軽減」の対応とします。

【従前】
重症化リスクにかかわらず全数

患者



HERISS入力

重症化リスクにかかわらず全項目入力



【今後】
重症化リスクで分類

重症化リスクあり	リスク低い
<ul style="list-style-type: none"> ① 65 歳以上の者 ② 入院を要する者 ③ 重症化リスクがあり、コロナ治療薬の投与又は酸素投与が必要と医師が判断する者 ④ 妊婦 	左記以外

従前どおり全項目入力に加えて下記に留意

- ①発生届の「入院の必要性」の欄に「有」と入力
なお、診断時に②に該当しない者が、その後入院した場合には、入院が必要であると診断した医師が、発生届を提出
- ②重症化のリスク因子となる疾病等の有無の「その他」の欄に「0」（後日、国でシステム改修予定）
- ③重症化のリスク因子となる疾病等の有無の「妊娠」の欄にチェック

7項目のみ入力

- ①報告年月日（発症日）、②類型（患者、疑い例など）、③氏名、④性別、⑤生年月日、⑥当該者所在地（市町村名）、⑦電話番号

※医療費の公費負担や健康観察等のサポートはこれまで通り継続します。